

秋田市教育委員会 会 議 録

平成 2 8 年 1 月定例会

秋田市教育委員会平成28年1月定例会会議録

- 1 日 時 平成28年1月28日(木)
午後2時30分～午後4時00分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教育研究所長
スポーツ振興課長
文化振興室長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
総務課主席主査
教育研究所主席主査
総務課主査
総務課主査
学校教育課主査

5 議 題

【協議事項】

- (1) 平成 28 年度当初予算（案）に関する件について

【教育長等の報告】

- (1) 平成 27 年度「新成人のつどい」の結果について
- (2) 平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について
- (3) 御所野学院検討プロジェクトについて
- (4) 秋田市立高清水小学校長の人事について

6 議 事 午後 2 時 30 分開会

【平成 27 年 12 月定例会会議録の承認】

平成 27 年 12 月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員 2 名を指名した。

【協議事項】

【非公開の議決】

委員長 協議事項(1)「平成 28 年度当初予算（案）に関する件」については、今後議会に提出され、審議される案件と聞いている。よって、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがあるので、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

(1) 平成27年度「新成人のつどい」の結果について

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 今年の参加者は、式場に遅れて入る人がほとんど見られず、私語もなく、非常にマナーが良かった。参加者の思い出に残る、良い成人式になったのではないかな。

生涯学習室長 全体的に穏やかに進行することができた。

委員長 18歳から選挙権が認められることにより、大人の定義が変わる。それに伴って成人式の進め方も考えていく必要がある。

生涯学習室長 他都市の状況も踏まえながら、検討する。

(2) 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 「質問紙調査の結果から」の「運動習慣について」では、小学校5年生女子の運動時間が男子と比べて少ないと感じる。理由が分かれば教えてほしい。

教育研究所長 小学生のデータには、スポーツ少年団として活動している時間も含まれている。男子に比べて女子の加入率が低いことも原因の一つである。

委員 例年、小学校5年生女子の運動時間は少ないのか。

学校教育課主査 小学校5年生女子の運動時間は全国、秋田市ともに少ない傾向にある。「学校でどう過ごしているのか」という調査でも、休み時間は教室で過ごす女子が多い。この点からも男子に比べ、女子の運動量は少ないと推測される。

委員 休み時間に外で遊ぶ女子が少ないと聞いた。この表は実態を表しているのかもしれない。

教育次長 運動習慣についてのグラフはメモリが300から始まっており、小学校5年生女子の運動時間が男子の3分の1ほど

に見える。しかし、実際には1日1時間ほど運動している。ホームページに掲載する際は、このグラフの表示を改め、表現も工夫し、誤解を招かないようにしたい。

教育研究所長 この資料を訂正し、誤解を招かないようにする。

委員 実際の体育、保健の授業や学校の実践面における活動を紹介する冊子を各校に1冊ずつ配布するだけでなく、併せて体育活動における会等があれば、子どもたちの運動について働きかけてほしい。

学校教育課主査 小学校には、各担任ごとに冊子を配布しており、70%以上の先生たちが活用している。その結果、先生達の意識が体育に向いてきており、学校現場の活動が充実してきていると感じている。研究会等についても働きかけを継続する。

委員 70%が活用ということは、30%が活用していない状況だ。この冊子だけでなく、教育委員会では様々な資料等を授業改善のために提供している。指導改善のため、是非活用してほしい。

委員長 小、中学校ともに柔軟性に優れる一方、瞬発力や投球能力等に課題がある。すぐに解決する問題ではない、学校現場だけでなく児童公園等、周辺環境も含めて対策を考えてはどうか。

学校教育課主査 体育の授業では、小学校4年生まで「投球技能」を扱っているが、小学校5年生からは「球技」となる。「投球技能」については、投げる経験や筋力が必要であり、学年ごとにふさわしい指導をしていきたい。

社会的環境については、施設を運動部が使用している場合、他の子どもたちが使用できない。運動能力の二極化が起らないよう配慮する。

委員 秋田では、幼児期に精一杯走り回る環境にない子どもが多い。小学校からの指導では、幼児期に不足した部分の回復は容易ではない。目標を定めるなどして取り組んで

ほしい。

委員

資料は全国と秋田市の比較であるが、外でおこなう種目については、日照時間も関係している可能性もある。東北六県や秋田県内の市町村との比較もあれば良い。また、全国的に見た場合、日照時間の差や西日本・東日本等の地域性などによる傾向の違いはあるのか。

学校教育課主査

東北六県の各県のデータは体力合計点という形で公表されているが、各都道府県や市町村別の種目ごとのデータは公表されていない。比較は困難である。２点目の地域性については、傾向をつかんでいない。

(3) 御所野学院検討プロジェクトについて

学校教育課長

平成２８年１月１４日に開催された第２回御所野学院検討プロジェクトの概要について報告する。御所野学院中学校長より、平成２７年１２月２６日に実施された入学者実施選抜結果について報告があり、受検者数７２名、合格者６６名、３年間のみの入学を認められた御所野学区在住児童２名であった。その後２名の辞退者がおり、４月から御所野学院中学校に入学する生徒は６６名となるとのことであった。

次に、答申に基づき、プロジェクトとして今後検討すべき課題について協議し、次の２点について確認した。

第１に御所野学院の中高一貫教育は非常に有意義であり、他校に様々な形で示唆を与えてきた価値ある教育活動であること。

第２に高校入学段階での生徒の流出が、御所野学院最大の課題であり、現在の学院における現行制度では中高一貫校の継続は厳しいことであること。

第３回以降の会議において外部に生徒が流出する課題の分析と今後の改善の可能性について広く検討する。

検討プロジェクトでは、結論を急がず、丁寧に検討して

いく。

委員長 検討プロジェクトは、6月をめどに一定の方向性を示すとされている。検討時間は十分あると考えて良いのか。また、秋田南高校が中高一貫校になったが、情報があれば教えてほしい。

学校教育課長 検討時間は十分にあると考えている。秋田南高校中等部の受検倍率は4.25倍であった。

(4) 秋田市立高清水小学校長の人事について

教職員室長 高清水小学校の前小川昌彦校長が平成28年1月1日に死亡した。校長の不在時は教頭が職務を代行していたが、県教育委員会が平成28年1月18日付で後任の校長を発令した。

後任の校長は、秋田県教育庁保健体育課主幹兼班長であった越中谷俊悦校長となる。越中谷校長は初任校が高清水小学校であり、平成23年度から平成25年度に教頭として金足西小学校に勤務していた。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会定例会は原則、毎月第4木曜日としているが、議会の日程の関係から、2月定例会は、2月9日(火)午後3時30分からを予定している。

また、例年2月下旬から3月上旬にかけて教職員人事に関する案件を審議する必要があり、臨時会を開催して対応しているので、後日、日程調整させていただきたい。

委員長 2月定例会は2月9日午後3時30分からとする。皆さん、よろしくお願いします。

【協議事項】

(1) 平成28年度当初予算(案)に関する件について

(協議事項(1)は、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第23条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後4時00分閉会

以 上